

# 令和5年2月22日 「建築研究所講演会」の開催

(問い合わせ先)

企画部企画調査課 井上

Tel 029-879-0638

E-mail [h-inoue@kenken.go.jp](mailto:h-inoue@kenken.go.jp)

# 令和4年度建築研究所講演会

## 目的

建築研究所講演会は、年に一度(毎年3月頃)、建築研究所の研究開発成果や調査活動の報告を通して、住宅・建築・都市分野における最新の技術情報を広く一般の方々に提供するために開催しています。

## 日程

開催日時	令和5年2月22日(水)13時00分～17時40分(開場12時00分予定)
開催場所	つくばカピオホール(茨城県つくば市)
特別講演	「カーボンニュートラル・ウェルネス建築推進のためのエビデンス」 伊香賀 俊治 氏 慶應義塾大学教授
一般講演	7課題
その他	入場無料(要事前登録、座席自由) ※ライブ配信も予定

※ 講演会の詳細は、今後、ポスター、チラシ、ホームページで御案内します。

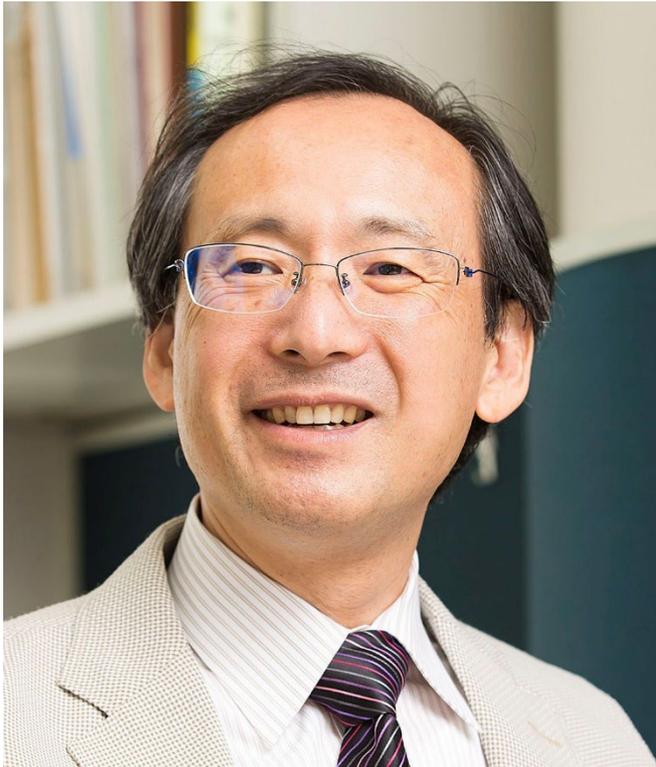
※ 入場定員制限や入場時検温など、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、会場開催を予定しておりますが、政府の方針等によっては急遽中止又はライブ配信のみとなる場合がございます。

2

# 特別講演

慶應義塾大学教授の伊香賀 俊治(いかがとしはる)氏をお迎えし、「カーボンニュートラル・ウェルネス建築推進のためのエビデンス」について御講演いただきます。

## 伊香賀 俊治 教授のプロフィール



1959年3月東京都生まれ。

早稲田大学理工学部建築学科卒業、同大学院修了。(株)日建設計、東京大学助教授を経て2006年より現職。

専門分野は建築・都市環境工学。博士(工学)。

日本学術会議連携会員、日本建築学会副会長、日本LCA学会副会長、空気調和・衛生工学会技術理事などを歴任。

共著に、「CASBEE入門」、「建築と知的生産性」、「健康維持増進住宅のすすめ」、「LCCM住宅の設計手法」、「熱中症の予防と現状」、「最高の環境建築をつくる方法」、「すこやかに住もう、すこやかに生きる、ゆすはら健康長寿の里づくりプロジェクト」ほか多数。

# 建築研究所の研究者による一般講演

建築研究所が取り組んでいる建築・住宅・都市分野の研究課題を中心に、最新情報を御紹介いたします。

1	人間活動が常時微動に及ぼす影響の検証 ～「ステイホーム」で首都圏は静かになったのか～	国際地震工学センター 主任研究員 林田 拓己
2	地震時における鉄骨造建築物の損傷検知手法の開発	構造研究グループ 研究員 長谷川 隆
3	水害リスクを踏まえたまちづくりについて	研究専門役 木内 望
4	木質内装仕上の防火対策に関する近年の取り組み	防火研究グループ 主任研究員 野秋 政希
5	木造建築物の中高層化等技術に関する研究開発	材料研究グループ 上席研究員 榎本 敬大
6	官民研究開発投資拡大プログラム(PRSIM)による BIM研究開発の成果と今後の展開について	建築生産研究グループ 上席研究員 武藤 正樹
7	多様な住宅空調設備を評価するための暖冷房負荷計算の開発	環境研究グループ 主任研究員 三浦 尚志

# パネル展示

1	地震後の継続使用性を確保するためのコンクリート系杭基礎構造システムの耐震性能評価手法および試設計	構造研究グループ 主任研究員 渡邊 秀和
2	建築物に作用する洪水等による外力性状に関する検討	構造研究グループ 研究員 高館 祐貴
3	木造建築物の音環境からみた快適性向上技術に関する検討	環境研究グループ 上席研究員 平光 厚雄
4	スモークチャンバー試験とガス有害性試験の相関性について	防火研究グループ 主任研究員 趙 玄素
5	スタジアム・アリーナの群集安全計画に関する研究	防火研究グループ 主任研究員 峯岸 良和
6	建築研究所・材料分野における長期ばくろ試験による建築材料・部材の耐久性評価と成果の活用	材料研究グループ 主任研究員 松沢 晃一
7	建築分野におけるドローンに関わる環境整備と建築物調査技術の開発	材料研究グループ 上席研究員 宮内 博之
8	繰り返し地震力を受ける集成材構造の柱脚部の力学的挙動に関する研究	材料研究グループ 主任研究員 山崎 義弘
9	緑地の降雨の浸透能を必要な精度で簡便に推定できる手法の検討	住宅・都市研究グループ 上席研究員 戸田 克稔
10	共働き子育て世帯の住替え状況の全国的分析	住宅・都市研究グループ 研究員 中野 卓
11	地盤増幅特性を考慮した耐震性能の設定法	国際地震工学センター 研究員 大塚 悠里
12	強震観測に基づく免震建物の振動特性評価	国際地震工学センター 主任研究員 伊藤 麻衣